

P-3®シリーズの作用

クラスIII不正咬合は、Myobrace® for Interceptive Class III (i-3®)で早期に治療するのが最適です(3~8歳頃)。しかし、早期治療の機会を逃し、永久歯列にクラスIII不正咬合が残ってしまうことがあります。クラスIIIの原因となる根本的な筋機能習癖が改善されることなく、ブラケットで治療された患者は、元の顎位に戻りやすくなる結果となる可能性があります。クラスIIIの患者は、複雑な顎の手術を受けても、術後結果が安定しないこともあります。

P-3®シリーズは、永久歯列のクラスIII不正咬合の患者向けに特別に設計された3段階の装置です。3mmのオフセットで上顎前歯を前方に、下顎前歯を後方に押すことで機能し、またそもそもクラスIII不正咬合を引き起こす原因となった習癖を改善します。

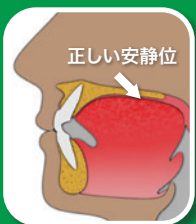
治療のゴール

- 鼻から呼吸することができ、
- 舌は下顎ではなく上顎の安静位に置かれ、
- 嚥下時、口唇の筋肉に動きがなく、
- 下顎前突を是正し、
- 健康的な顎の発達を促すことです。

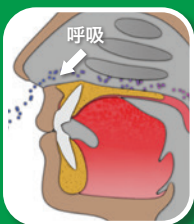
Myobrace®が機能するには、筋機能習癖を改善する必要があります。



正しい安静位



正しい嚥下パターン



正しい鼻呼吸

Myobrace® for Permanent Class IIIシステムは、永久(成人)歯列期のクラスIII不正咬合を改善するために特別に設計された3段階の装置シリーズです。

P-3®は、この治療システムの第2段階の装置であり、上顎前歯を前方に、下顎前歯を後方に押すことで、下顎前突の改善に役立ちます。P-3®はまた、上顎の発達促進のためのインナーナイロンコアを備えており、その他の特徴として舌位、上顎の形状と歯牙の配列の更なる改善が見込めます。

治療上の注意点

治療期間は、各患者の生物学的適応性により、異なる可能性があります。永久歯列期におけるクラスIIIの治療は決して理想的ではなく、結果を過大評価すべきではありません。Myobrace® P-3®を毎日使用し、根底にある習癖を改善するために粘り強く努力することが重要です。

場合によっては、歯列弓拡大や歯科矯正技術が必要になる可能性があります。望ましくない複雑な治療を回避するために、歯科矯正医または歯科医師による定期的な検診も不可欠です。

Myobrace®装置の洗浄: 装置を口から取り外した後は、毎回ぬるま湯で洗い流してください。口腔内装置の洗浄は、Myoclean™の使用を推奨します。詳しくは、かかりつけ医にお問い合わせください。

使用期限: 6ヶ月(毎日使用した場合)。
使用期間に関わらず12ヶ月で交換してください。

注意: 歯科矯正医または歯科医師の下のみでご使用ください。

Myobrace® by Myofunctional Research Co.
Myofunctional Research Co. Australia
44 Siganto Drive, Helensvale QLD 4212 Australia
Tel: +61 7 5573 5999

USA Representative:
Myofunctional Research Co. USA
9267 Charles Smith Avenue, Rancho Cucamonga CA 91730 USA
PO Box 2781, Rancho Cucamonga CA 91730 USA
Tel: +1 866 550 4696

European Representative:
Myofunctional Research Europe B.V.
Gompenstraat 21c 5145 RM Waalwijk The Netherlands
P.O. Box 718, 5140 AS Waalwijk The Netherlands
Tel: +31 416 651 696

同一患者用
MYOFUNCTIONAL RESEARCH CO.
INNOVATIVE DENTAL APPLIANCE TECHNOLOGY AND EDUCATION



Myobrace_P-3_INS_1122_JPN_v2.0.5

myobrace®

FOR PERMANENT CLASS III

PERMANENT DENTITION

日中1時間
と夜間就寝
時の使用

i-3®

www.myobrace.com

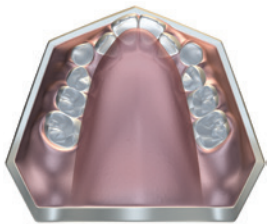
特許取得。詳細はMYORESEARCH.COMをご参照ください。

歯列矯正の問題の原因は何か？

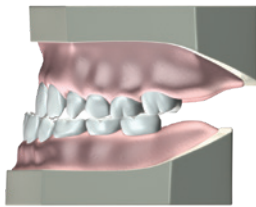
今日、多くの人に、叢生や顎の劣成長が見られます。口呼吸、間違った舌位や嚙下パターンが、叢生やクラスIII不正咬合つまり下顎前突を含む不正咬合の原因となっています。できるだけ早期治療でこれらの習癖を治療し、歯列矯正の問題の悪化を防ぐことが理想的ですが、高年齢の患者も、これらの根本的な原因に対処しながらクラスIIIの治療を行います。これにより、安定性を高めながら、治療をより効率的に進めることができます。このような原因を見落とし、根本的な健康問題を無視すると、治療の困難および再発の可能性が高まります。

クラスIII不正咬合の定義

叢生や顎関係の悪い状態の1つとして、クラスIII(下顎前突)があります。これは、下顎と下顎歯列が、上顎と上顎歯列よりも前に出ている状態です。成長期に、舌が上顎を発達させます。口呼吸は、低位舌の原因となり、上顎の発達を制限します。舌が低位になると、上顎が発達しなくなり、下顎が前方に突出し下顎前突となる可能性があります。したがって、鼻呼吸と正しい舌位を確立することは、良好な治療結果を得るために非常に重要です。



低位舌は、上顎劣成長の原因になります。

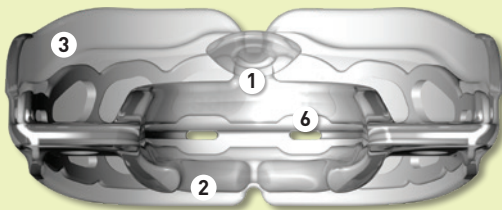


上顎劣成長は、下顎前突を引き起こす可能性があります。

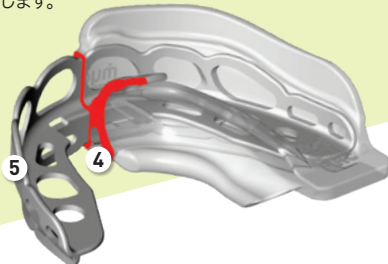
Myobrace® for Permanent Class III (P-3®)

Myobrace® P-3®は、永久歯列期クラスIIIシリーズの第2段階の装置であり、特にアーチの発達に焦点を当てています。P-3®には、歯列弓を拡大するのに役立つナイロンコアが内側に組み込まれています。上顎前歯を前方に、下顎前歯を後方に押すことによって、下顎前突の是正を助けます。また、P-3®は舌位を正し、上顎の形状と歯並びをさらに改善します。

Myobrace® for Permanent Class III (P-3®) - 設計特徴



- 1 柔軟なタンタグは、舌尖をスポットにガイドし、舌を正しい位置である前方に誘導します。
- 2 タンエレベーターは、舌を正しい位置に挙上させます。
- 3 フランケルシールドは、上顎アーチの発達を促進します。
- 4 3mmオフセットは、上顎歯列を前方に、下顎歯列を後方に押すことによって、下顎前突を改善します。
- 5 Dynamicore™ with Frankel Cageが、アーチの発達を促します。
- 6 呼吸孔が鼻呼吸の確立を促します。



P-3®

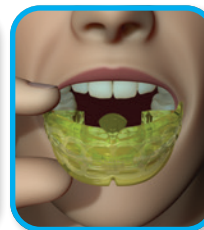
使用方法

Myobrace®装置を毎日日中1～2時間と、夜間就寝時に装着してください。

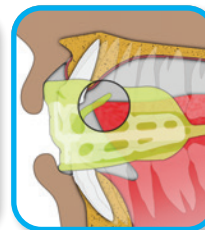
治療の初期段階では、歯牙がわずかに過敏になることがあります。これはごく普通のことですが、痛みがひどくなった場合は、使用を一時中断し、医師に相談してください。



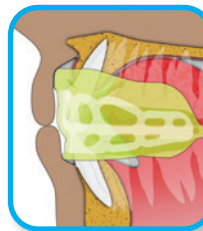
Step 1-タンタグが上に来るようにMyobrace®を持ちます。



Step 2-Myobrace®を口腔内に入れます。



Step 3-舌は常にタンタグに当ててください。



Step 4-Myobrace®を装着した状態で口唇を閉じると、前歯と顎の位置が調整されるのが感じられるはず。



Step 5-口唇を閉じ、鼻から呼吸してください。

Myobrace®
を噛み込まないでください!

治療の初期段階は、夜間就寝中に装置が外れることがあります。このような場合は、日中の使用時間を増やしてください。